

Saidaiji JC Report



京都会議



西大寺青年会議所の本年度スローガン「Imagine」に込められた想いを、如何様に伝えていくかは井上理事長の所信に説かれています。

この熱き想いを具現化する為にも、一瞬でも早くトップスピードに持って行く事ができるよう、私たちは団結せねばなりません。まずはその事始めとして、会頭の指針をしっかりと聴く事は不可欠であります。日本青年会議所の動力を我が物にするべく、本年度も京都会議へ行ってきました。

福井正興会頭が述べられた「私たちは美味しい木の実にならなければならない」という言葉の意味は、自分が美味しい木の実になれば、多くの人とその味の素晴らしさを知り、地域に喜びや、豊かさを与える事が出来るという比喻表現であったように思います。私が思う美味しい木の実になる方法とは、結果だけに捕らわれず、種をまく「時」を選び、耕す「努力」をし、失敗を「肥し」とし、水なる「智慧」をしぼり、常に温かい「心」を持って光りを当て続ける。こうした過程を大切にしている者だけが実っていくものだと思います。JC運動の素晴らしさとはまさに、この過程を大切に実践している事が最大の魅力ではないでしょうか。

会頭所信全てを感じ取るまでには修行が至っていませんが、キーワードとなる言葉を聞く事ができ、大変素晴らしい経験になったように思います。

こうして京都会議も無事閉会。時も過ぎるは飛ぶ矢の如く流れる水に似て、今年もまた名残惜しくも京都を後にする私たちでした。

総務委員会 委員長 坪井綾広



2月例会



2月9日に2月例会を行いました。文化継承委員会としては、委員長を筆頭に新年度が始まる前より準備してきた、第40回少年はだか祭りの直前の大事な例会ということで、設営にも力が入りました。メンバー皆さんの委員会の垣根を越えた助力のおかげで、スムーズな例会運営ができました事を感謝いたします。また、出席率も見事100%の例会となり、当ロムメンバーが本例会の重要性を十分に理解し、ご協力いただけていることを実感できました。そして今回より高木宏太くん、寺田和宏くんの両名が新たに入会していただいたことも、非常に喜ばしく心強い出来事でした。お二人のスピーチに共通する地域に対する奉仕・活性化への貢献といった理念は、まさに当ロムの必要とするところであり、とても頼もしい印象を受けました。

委員会アワーとしては、文化継承委員会の担当事業であり当ロムの基幹事業でもある少年はだか祭りの運営の説明と質疑応答をいたしました。

メンバー全員で真剣に内容を精査していただき、様々なご意見を受けて確認・修正しながら、本番に向けてそれぞれの意識の高まりを感じるよい機会になったと思います。

少年はだか祭りに限らず、人材の限られている現状での今後の事業に対する対応としても意義のある例会になったと思います。

文化継承委員会 宗石幸治



少年はだか祭り



平成23年2月19日(土曜)第40回少年はだか祭りが恵まれた天候のもと、盛大に執り行われました。本年度の参加児童人数は470名と前年度を上回る参加者を迎え、主催者側の最大の目的でもある子供達の「安全」、そして「安心」の徹底に関しても、特に大きなトラブルもなく無事に成し遂げることができました。

今回より福男児専用法被の導入など新たな試みも加え、担当委員会藤本委員長のカラーを垣間見ることもできた少年はだか祭りでありました。

時代と共に子供達のスタンスも急速に変化をし続けていく現代社会の中で、各種争奪戦を制するという統一の目的に向け無我夢中になり取り組んでいた子供達の姿は今も昔も変わりなく、そこには時の流れを超越した子供達の姿が存在していました。これぞ地域に根付いた文化、伝統の重さ、そして力強さといえるのではないのでしょうか。そして、その文化・伝統を継承し続けていく為にも我々の存在価値は不可欠であるといえます。

「安全」なくして「安心」などありえません。我々は子供達の「安全」もさることながら、「安心」も守り続けていかななくてはなりません。何かを守ろうとすればするほどそれに伴い障害も深く生じてくるものです。だからこそ、今一度我々は団結し、今回の反省点を真摯に受け止め、今から来年度に向けて動き出さなくてはなりません。

最後になりますが、「安全」、「安心」な少年はだか祭りの運営にご協力下さいました関係諸団体の皆様方、JCOBの先輩方、そして西大寺JC現役メンバーの皆様方に感謝を申し上げます。

文化継承委員会 仁科 健



会陽懇親会



2月19日(土)に会陽懇親会を開催しました。

西大寺で500年以上も続く伝統行事、西大寺会陽に参加することを主旨とし、また少年はだか祭りを終えての懇親会も兼ねて、本年度も岡山商工会議所青年部の皆様と総勢50名もの参加者で開催することが出来ました。

前日からの雨天も幻のように当日は晴天に恵まれ、夜も2月にしてはかなり穏やかな寒さとなり、裸まつりには少し暖かい気温で会陽に参加することが出来ました。

西大寺青年会議所では古くから、毎年会陽に参加し地域の伝統文化を知り、またその時代に合わせた手法を考えながら、この祭りに携わって来られたと聞いております。われわれもその伝統を受け継いで行き、また現役メンバーで理解を深めて、少なからず携わって行ければと思います。

個人的には今回で5回目くらいの参加で、西大寺に住む人間としては、まだまだ経験値が足りませんが、この行事をさらに理解し、後輩たちに受け継がせて行けるようにと思います。

ブロックじゃがいも大会実行委員会
実行委員長 塩崎 鉄司



3月例会



3月9日(水)に3月例会が開催されました。

3月は移動例会となり、塩崎実行委員長の地元の施設を使用したいという熱い思いにより西大寺緑化フェア跡地に新設された体験学習施設百花プラザ2F会議室にて開催されました。この施設の名称は「百花斉放」いろいろな花が一斉にさくことからとり、「学問や文化、芸術が盛んに行われるように」という意味を込めて名付けられたそうです。まさに文化継承、少年育成を主に掲げている西大寺JCとの共通点が多い施設となっております。

初めて使用する会場と言う事で、いつもと勝手が違う場所での準備や後片付けなどの段取りの重要性を改めて実感しました。

例年の移動例会では会員相互の親睦を深める為の委員会アワーを行っておりますが、今年は第82回岡山ブロックじゃがいも大会を西大寺青年会議所が主管をする事が決まっております、メンバーによりいっそう理解を深めて頂くために事業説明を致しました。西大寺青年会議所が一丸となって運営に当たる旨を今一度お願いし、また個々の役割など詳細について説明をさせて頂きました。また質疑応答等によりメンバーの貴重な意見やアドバイスなどを頂き、迫る2ヶ月後の開催に向けて全力で取り組みたいと思います。

ブロックじゃがいも大会実行委員会
副実行委員長 長谷川 豪範



新会員研修会



3月12日(土)に岡山ブロック新会員研修会が開催されました。前日の夕方に、東北地方太平洋沖地震が発生したことを受け、開催すべきかどうかの議論が行われた中、例年とは内容を大幅に変更した形で開催ということになりました。研修会では、2月に入会した高木君と寺田君が、「ビジョン ミッション&ヴァリューズ (VMV)」についての講義を聞き、青年会議所が掲げている目標や、目標達成に向けての使命について、そして青年会議所が最も大切にしている価値観などについて学びました。講義の中では、新会員の皆さんが意見交換を行い、また積極的に発言し、真剣に学ぼうとする姿勢が見られ、大変印象的でした。その後は、通常の懇親会ではなく、参加者全員が今回の震災について、LOMとして、また個人として何が出来るかをグループに分かれて話し合い、発表を行いました。JCだからできること、そして今やるべきことは何なのかを考えることはとても大切なことであり、本来の研修会とは違った形での開催となりましたが、大変意義深い研修会になったと思います。

新会員紹介

高木 宏太



高木 宏太

二月に入会して早々、会陽という大きなイベントに参加させていただき、自分自身の幸運を感じているところであります。このような、歴史と伝統のある西大寺青年会議所の一員となることに、いささか緊張と不安を覚える反面、大いなる喜びと高揚感を感じております。今後は皆様方と共に、「修練、奉仕、友情」の基本理念のもと積極的に活動していく中で、地域社会に少しでも貢献させていただきたいと考えております。それと共に、何事にもチャレンジしていくことにより自分自身のスキルアップの場としても、大いに活用させていただきたいと思っております。私事ではございますが、昨年十一月に西大寺に転居しまして、それまで無縁であったこの地域に関しましては右も左もわからない状態でございますので、皆様方には多大なるご迷惑をお掛けすると思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い致します。

新会員紹介

寺田 和宏



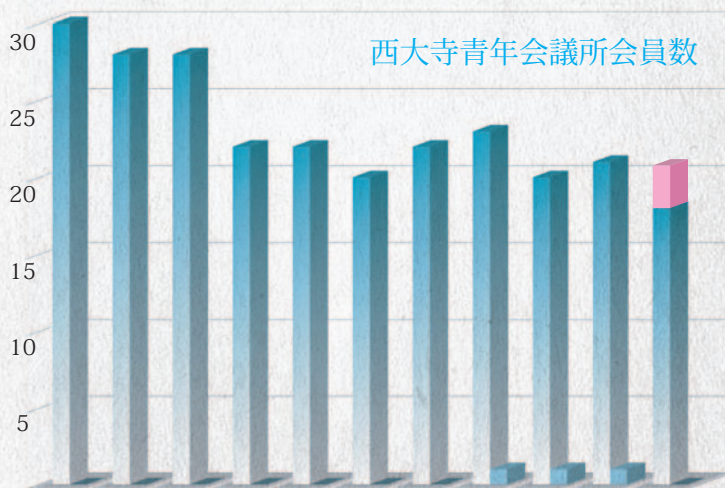
寺田 和宏

皆様はじめまして。

2月より、西大寺青年会議所に入会させて頂いた寺田和宏と申します。私は、6年前に西大寺に来たばかりで正直、西大寺の町や歴史を知りません。この度、西大寺青年会議所に入会させて頂く事となりましたので、これから地域の皆様、西大寺青年会議所のメンバーの方々、たくさんのOBの方々からいろいろと、西大寺の事を教えて頂き、頑張っていこうと思います。

入会の前は、行事等がたくさんあり、大変そうだと思っておりましたが、「なせば成る」という言葉があるとおり、やろうと思えば何事も出来ます。何事もチャレンジしなければ始まりませんし、成功もありません。チャレンジする事で失敗をするかもしれませんが、人は失敗をして、成長すると、私は考えます。以前の私は失敗をして、いろいろと考えておりましたが、現在は、失敗をしても、次はどうするかと前向きに考えるようになりました。そんな気持ちもあり、この度入会させて頂きました。入会したからには、微力ながら、皆様方のお役に立てる様、精神誠意、努力し、精進してまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。

会員状況



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
男性会員	30人	28人	28人	22人	22人	20人	22人	23人	20人	21人	20人
女性会員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人

全国LOM数 704LOM

全国会員総数 35,661名
うち女性会員数 1,993名
(平成23年3月1日現在)

西大寺JC会員数 20名
うち女性会員数 0名
(平成23年3月1日現在)

東北大震災被災地支援への取り組み

3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。また、津波の影響により、多くの方々がお亡くなりになられたことに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

今回の想像を絶する甚大な被害を前にして、私たち青年会議所のメンバーができることは、本当に微々たるものでしかないと思いますが、今私たちにできることをひとつひとつ実行し、被災地への支援活動を長期的に行いたいと思います。皆様のご理解と、そしてご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

●救援物資の提供

3月18日、救援物資に指定された日用品について、西大寺青年会議所メンバーから物資を募り、岡山県庁に持参しました。

今後は、生活基盤を喪失した被災者の生活支援の段階へと移行するため、救援物資の受け付けは平成23年3月31日を以って休止になるとのことです。

●街頭募金活動の実施

下記の日時及び場所にて、街頭募金活動を実施しました。

小さなお子さまからご高齢の方まで、多数の皆様から義援金をお預かりしました。ご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございました。

3月19日(土) 16:10～
岡山駅東口広場

3月23日(水) 16:00～
西大寺地区

3月29日(火) 17:00～
西大寺地区

3月30日(水) 17:00～
瀬戸内市地区



東北大震災被災地支援への取り組み

●募金箱設置運動の実施

被災地支援の一環として、西大寺青年会議所の特別会員の皆様にご案内をさせていただき、右のような手作りの義援金箱を社内や店舗に設置していただけるようお願いをさせていただいております。

平成23年4月末日までを第1期の募金期間として、義援金のご協力をよろしく願います。

集まった義援金は、後日メンバーが回収にお伺いさせていただきます。尚、第2期・3期と引き続き募金期間を設けることも検討しておりますので、継続的なご支援をよろしく願います。



●義援金受付窓口

西大寺青年会議所以外の方で、被災地の復興支援へご協力をいただけます方は、岡山商工会議所西大寺支所内の社団法人西大寺青年会議所事務局へお問い合わせをいただくか、直接ご持参ください。

お問い合わせ先

社団法人西大寺青年会議所事務局
岡山市東区西大寺中3-6-15
TEL 086-942-0101
FAX 086-942-0103
E-mail sjc1@optic.or.jp

発行日	平成23年3月吉日
発行責任者	井上 裕嗣
発行責任者	三枝 克守
編集責任者	長谷川 豪範
発行所	社団法人西大寺青年会議所